



校長室だより No.29 令和6年1月15日(月)

今年一年の目標をもって 書き初め大会

新年が始まって最初の登校日である1月9日(火)に、校内書き初め大会を行いました。子供たちの様子を見ると、心を落ち着かせて手本をよく見ながら一字一字丁寧に書いていました。1月16日(火)、17日(水)には、校内書き初め展が行われます。子供たちが心を込めて書いた素敵な作品が廊下に飾られていますので、保護者の皆様は、ぜひご覧ください。

さて、書き初めについてですが、二つの大きな意味があります。

一つ目は、「今年一年の目標や抱負を書くことで、行動を新たにする」という意味です。今回は、各学年で決められた字を書きましたが、新たに自分で今年の目標や頑張りたいことを決めて字に書き、家の中に飾ってみるのもいいです。毎日目にすると飾ることで自然と意識が高まり、目標や願いが叶いやすくなると思います。



二つ目は、「字の上達を願う」という意味です。最近では、スマートフォンやパソコンでの入力が増え、文字を書くことが以前よりも減ってきています。しかし、美しい文字を書くことは、気持ちを落ち着けてくれますし、ミスを防ぐためにも大事なことです。小学校で字を書く機会を大切にしながら、字の上達を目指していけるとよいです。

避難訓練 自分を守る 互いに助け合う

誰もが新しい年の平穏と多幸を願う元日に、石川県の能登半島を大地震が襲いました。多くの建物が倒壊し、大規模な火災や津波も発生し、今もなお厳しい状況下に置かれている方々がたくさんみえます。被災された方々や関係された方々に、心よりお見舞いを申し上げます。今回の元日の大地震は、全国の人々に大地震はいつでもどこでも起こり得ること、そして地震防災・減災の難しさを強く印象付けました。だからこそ私たちは、冬の避難所で避難を続ける被災者へ思いを馳せながら、地震への徹底した「備え」の大切さを確認する必要があります。



今回の避難訓練は、具体的な日時を子供たちに伝えることなく、今週中のどこかでやりますということしか伝えていませんでした。実際行ったのは、10日(水)の青空タイムの時でした。地震を知らせるカウントダウンの放送が入ると、子供たちは、まず自分の身の安全を守るよう心がけていました。しかし、冷静に行動し頭を覆う子がたくさんいた一方で、いつもと違って話声を出してしまい、焦ってしまう子も何人かいました。まずは、その場が安全か確認し、落下物や倒壊物を避けて身を守ってください。天災は、いつ何時起こるかわかりません。日頃から、地震が起きた場所によってどう行動すればよいかを考えておく必要があります。まずは、自分の身を自分の努力によって守る(自助)と、普段から顔を合わせている家族や近隣の人々と互いに協力し合いながら助け合う(共助)を心がけましょう。家庭、外出先、登下校中、様々な場面や時間帯を想定し、地震に対する備えや対応策について、家族で十分に話し合っておきましょう。

☆保護者の皆様へ 1月16日(火)、17日(水)に、分散授業参観および校内書き初め展を行います。お子様の授業中の様子や、書き初めの作品を、ぜひご覧ください。